

常任委員会視察レポート

文教民生常任委員会

予防医療と図書館
 視察地 長野県飯島町
 山梨県韮崎市
 視察日 10月15・16日

「予防医療」の先進地長野県飯島町は、2つのアルプスに囲まれた人口1万人ほどの、緑豊かな町です。その飯島町が2007年～2011年の5年間に、地元の昭和伊南総合病院と共同で、日本初の試みである『ピロ

リ菌を退治して胃ガンを減らそう』というキャンペーンを実施しました。18歳～60歳を対象に検査を行い、成人式で新成人に検査を行うなど、ユニークな取り組みに感心しました。このキャンペーンを通じて、住民の意識も変わってきたそうです。予防医療の大切さを改めて痛感した視察でした。

山梨県韮崎市へは、最新の共同図書館の調査に

伺いました。韮崎市は65%が森林で、サッカーの町としても知られています。

図書館は、韮崎市民交流センター2階にあり、四方がガラス張りの明るく開放的な図書館で、最新の設備は利用者にとって便利なものとなっていました。児童書コーナーは子どもの目線で楽しめる様に工夫が施され、サービスも充実していて、大変素晴らしいものでした。



昭和伊南総合病院



韮崎市図書館

総務建設産業常任委員会

環境配慮型エネルギーについて
 視察地 群馬県太田市
 山梨県甲府市
 視察日 10月10・11日

太田市は、人口が約22万人で、世帯数が8万6千300世帯あります。2年間で3千500人ほど減少しました。参事さんより太陽光発電システムの詳細を説明していただきました。市長さんがアイデアマンということで、国の

奨励金をもらえる事業に参加し認定され、太陽光発電システムの導入を決定しました。太陽光の町、太田市の取り組みとして一般家庭からメガソーラーへと宣言された。平成13年～22年4月までの10年計画で、太陽光発電システムを553戸に設置した団地としては、世界最大規模です。市の関係施設19ヶ所にもトータルで2千540件の設置をし、合計出力は約9千500kwあり、

売電収入で利益が上がっているとの説明でした。

次に視察したのは、甲府市ゆめソーラー館です。県の施設で、面積は12.5haあり、年間の発電量は千200万kwです。山梨県地球温暖化対策実行計画に基づき、推進のために地域の特性をいかし、太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入や、普及に取り組んでいます。



太田市エコハウス



甲府市ゆめソーラー館